

岩手県教育委員会委員長 八重樫勝 様  
岩手県教育委員会教育長 高橋嘉行 様

2016年2月10日  
日本共産党岩手県議団  
齊藤 信  
高田 一郎  
千田美津子

## 新たな県立高等学校再編計画（案）に関する申し入れ

県教育委員会は、昨年12月25日、「新たな県立高等学校再編計画（案）」を公表し、県内各ブロックごとの地域検討会議と地域説明会を開いています。今回の「再編計画(案)」は、「今後の高等学校教育基本方向」に基づく地域検討会議等の意見を踏まえたものとなっていますが、具体的な統合計画や学級減の計画に対して地域から少なくない意見が出されています。

県立高校のあり方は、生徒にとっても地域の将来にとっても大きな影響を与えるものであり、地域・住民の納得と合意を踏まえたものとするのが特に重要です。そのためには、具体的な意見・要望に対して十分議論と合意形成をはかることが必要です。東日本大震災津波からの復興の取り組みも、まだ道半ばであり、そのことも考慮すべきであります。また、1学年1学級の高校も条件付きで存続する方向が示されましたが、1学級規模でも教育の質を確保し、進学にも就職の進路指導にも対応できる体制を確立すべきです。他県ではすでに35人学級を実施しているところもあり、35人学級の実施なども検討すべきです。

以下の点を考慮し、「高校再編計画」を策定するよう申し入れます。

### 記

- 1、3つの統合計画については、地域自治体と地域住民の合意と理解を前提に進めること。  
そのための十分な議論と検討を行うこと。
- 2、学級減の計画については生徒へのアナウンス効果が大きく、学級規模を維持する地域の取り組みを尊重した計画とすること。
- 3、地域に必要な1学年1学級規模の高校については、画一的な基準で統廃合しないこと。  
1学級規模でも教育の質を確保するために、進学にも就職にも対応できる体制を確保すること。35人学級の実現も検討すること。
- 4、具体的な「高校再編計画（案）」が示されてからの議論と検討は始まったばかりであり、十分な議論と検討が行われるよう年度末の期限にこだわらず、丁寧に進めること。

以 上